



赤毛のアン島の島、プリンスエドワード島に行ってきました。いつもは、助手席でぐっすり眠っている妻が、絵葉書のような景色に感激して写真を撮りまくっていました。大きなロボスターを食べ、周囲を見渡すと太った人ばかりで、私などは痩せているほうだ、と妻に言っていました。ところが、大陸横断鉄道でモントリオールに着くと、スタイルの良い人ばかりで、お腹をへつ込ませながら町を歩くことになってしまいました。肥満や健康管理に一番影響を与えるのは、意識付けであるというのが、結論でした。

長野市と佐久市の議員研修会に低血糖症の検査の保険適用を求める議案の説明会に行ってきました。内容は、ニュースの中で説明しますが、既に三〇の県市で採択されています。この運動に共鳴してくださる方には、その講演DVDを五〇〇円でお分けします。

ヨーゼフの店舗を隣りに移しましたが、好評のようでした。説明の管理栄養士は新任なので、困った時には私を呼ぶことになっていきます。私へのご相談は、スタッフに御連絡ください。簡単なものは無料です。

私のブログも好評です。いろいろなものを取り混ぜているので、私の素性を疑う人もいるかもしれません。マリヤ・クリニックのお知らせも載せています。ちなみに好評だったタイトルは、「恐怖の土左衛門泳ぎ」、「プリンスエドワード島ドライブ」、「弱者への配慮」などです。「クロスロードからの便り」<http://crossroadchapel.blog.ocn.ne.jp/>

ゴールデン・リトリバーのジョイが10歳で老けてきて夏バテですが、バテルと好き嫌いが強くなり、ドッグフードも高いものでないと食べなくなりです。これは本能なのか甘えなのか。玄米ご飯をあげたら食べました。「この犬は、私と同じで、健康なものをわかるのね。」と院長は感心していました。犬は飼い主に似る。「面白い犬になりました。私も慣れてきました。どちらにも。 事務長・柏崎久雄

**\* 感染症の疑いのある方は廊下の入口から**

インフルエンザ、風邪、おたふくかぜ、はしか等が疑われる方は、中央通路わきにあるインターホンでご連絡ください。状況を確認して2階の感染症患者待合室に誘導いたします。院内感染を避けるためご協力ください。病態別に隔離して診察しますので、ご安心ください。

**\* H22年度特定健診が始まっています。**

受診は予約不要です。保険証と受診シールを御持参の上、絶食で来院してください。

9月8日は午後3時からの診察になります。

院長がBCG予防接種の出張のため、遅くなります。

**\* ビタミンC点滴療法について**

ガン治療の選択肢として、体調維持と治療のため、副作用の無いビタミンC点滴療法があります。

サプリメントの販売は隣りの店舗になりました。

サプリメントの販売は、隣りのヨーゼフの店舗となります。院長処方などを出す場合には、クリニックで処方料金が掛りますが、ご自分の判断で購入する場合には、これまでどおり商品代金だけです。

**\* 「聖書を読む会」9月14日(火) 2時〜2時20分**

「回復の会」9月14日(火)。申込制。会費2千円  
コーチングの場所などが変わります。

寺田節子先生のコーチングは、治療上の必要がある方で、コミュニケーションや自己管理の向上を目的としたものです。1階栄養相談コーナーで行います。火曜日は無料ですが、院長の指示により異なります。他の曜日に予約される方は、1時間3千円を予約払いしてください。

**\* 低血糖症治療の会、全体研修会**

10月11日(祝・月) エステルホールにて

## 1. 機能的低血糖症の病名認知と保険適用の必要性

車のエンジンがガソリンと酸素を必要としているのと同様に、人の身体もエネルギーと酸素を必要としています。活動の多寡に関わらず、エネルギーの源としての血糖の値は 90~100mg/dl に調整されなければなりません。食後血糖値が 140 を超えると注意が必要で、170 を超えると腎臓から尿糖として糖分が排出され、多すぎないように調整されます。80 を下回ると、細胞の中に血糖を取り入れるホルモンであるインスリンの分泌が止まり、身体の中で糖新生という働きが進んで血糖値を上げるように調整されます。この調整機能がうまくいかなくなり、血糖値が高止まりする病気は糖尿病として知られています。糖尿病には自覚症状が殆どないので、空腹時の血糖または 75g 経口ブドウ糖負荷試験で診断します。空腹時に 126mg/dl 以上の血糖があればブドウ糖負荷をしなくても糖尿病型と判定されます。(資料参照)

糖尿病が多くの病気を併発してくることは周知され、治療の重要性が叫ばれていますが、血糖値が少ないほうが、どうみても身体には悪い影響をもたらす可能性は高いのにも関わらず、ないがしろにされています。それは血糖値が下がることはない、という前提に基づいているからです。機能的低血糖症という病気は、医学界でも全く認識外のものだったのです。

2009 年 1 月の国会勉強会では、元鹿児島大学医学部病院病院長の納光弘医師から、糖尿病学会でも 5 時間の OGTT を取った事例がなく、全く「低血糖症」ということは知られていなかったこと、ご自分の 5 時間の OGTT のデータを鹿児島大学の講演の中で発表したら非常に興味を持たれたと報告されました。さらに、健康であると自覚している人から有志を募り、50 名の 5 時間 OGTT データを集めているが、「低血糖症」である人が多くみられて驚いているとも報告され、実際に「機能的低血糖症」があることを医学会に示さなければならぬと力説されました。納医師が教授であった鹿児島大学医学部第 3 内科は、神経内科・呼吸器内科・膠原病・糖尿病などを担当した、日本において最も規模の大きな神経内科の一つであり、この分野での権威であります。

低血糖症の診断のための OGTT が 5 時間でも保険適用になる、との国会答弁がありました。現在の保険適用では時間や回数が拘束されないで、その答弁は正しいこととなります。しかし、実際には費用と手間の関係から保険適用が無理なことは、2009 年 1 月の国会勉強会における私どもの資料にたいして厚労省の担当者が、認めております。(資料参照)

保険診療と自由診療との混合診療が認められていないので、大きな病院では自由診療としての 5 時間の OGTT (耐糖能負荷試験) をすることはできません。小さな病院では、患者さんを 5 時間以上拘束するので、待機する場所を確保することが難しく、9 回の採血と採尿・検温は大きな手間が掛るので、実際には無理なものとなります。しかし、低血糖症は血糖値が少なくなるとホルモンの分泌も異常となるために多くの病気を併発させるので、5 時間の OGTT は多くの病気の根本的原因解明にもなり、特に精神症状の悪化や慢性疲労などの原因解明のために有効な検査であります。国会勉強会では、2000 名以上の検査結果を報告しております。

国会勉強会や「機能的低血糖症に関わる国の取り組みを求める意見書」については、青森県議会の伊吹信一議員が活躍してくださっています。現在まで以下の地方議会で決議されています。

北海道-赤平市、芦別市、名寄市、恵庭市、小樽市、石狩市、北見市、上砂川町。青森県議会。群馬県前橋市。茨城県取手市。千葉県市川市議会。埼玉県上尾市。東京都-東久留米市、調布市、東村山市、三鷹市、多摩市。長野県-安曇野市、松本市議会。愛知県名古屋市の市議会。滋賀県-大津市、野洲市。大阪府-箕面市、枚方市、堺市。京都府向日市。兵庫県宝塚市。福岡県北九州市。福岡県大牟田市

## 2. 低血糖症の概要

- 低血糖症は、1987 年にマリヤ・クリニックで初めて診療を開始し、日本では未知の病気であった。最近まで、日本では殆ど医師が医学部で学んだことも医学辞典にもないので知られていなかった。
- アメリカでは 2,000 万以上の患者がいる。(Dr. パーボ・エイローラ「低血糖症」1977.大沢博訳)。日本では、糖尿病患者(890 万人)。予備軍 1320 万人、計 2100 万人。出典：2007 年

国民健康・栄養調査）と同程度の患者がいると推察。

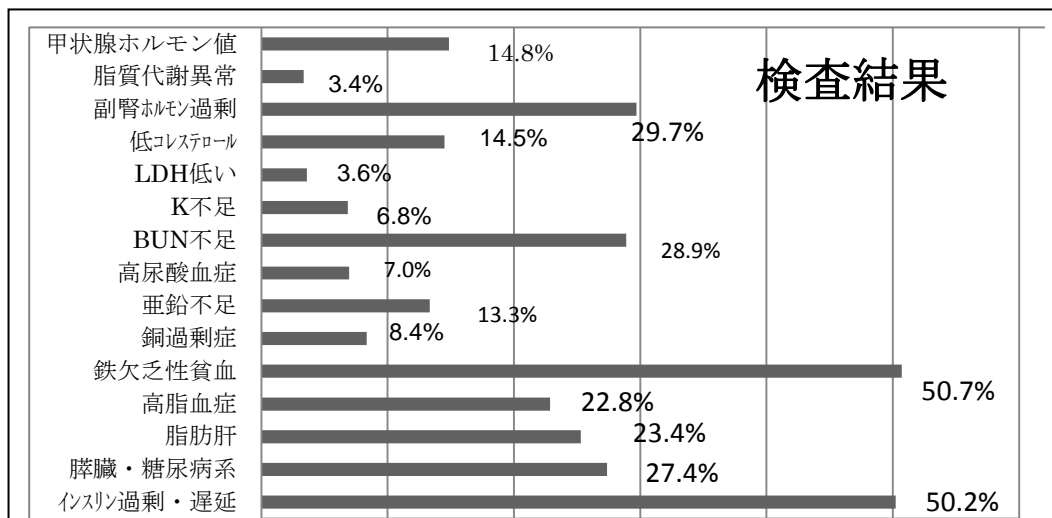
- 低血糖症の診断には一般に行われていない5時間のOGTT（耐糖能精密検査）が必要。マリヤクリニックは、既に2000人を超える耐糖能精密検査を実施（低血糖症率93.3%）。
- 2009年のOGTT検査者206名のうち、202名が低血糖症であり、さらにそのうち6名が糖尿病であり、境界型糖尿病も19名おりました。2010年前半期では、124名のうち123名が低血糖症、4名が糖尿病、10名が境界型でした。つまり、糖尿病として治療を行うと、却って低血糖がひどくなって危険なことになり、5時間の検査がどうしても必要となります。
- 5年間のOGTT検査者と機能性低血糖症と診断された人数。

|     | 検査数   | 男性  | 女性  | 低血糖症 | 低血糖症(疑) | 低血糖症以外 |
|-----|-------|-----|-----|------|---------|--------|
| H16 | 287   | 125 | 162 | 260  | 6       | 21     |
| H17 | 242   | 88  | 154 | 227  | 5       | 10     |
| H18 | 164   | 65  | 99  | 154  | 4       | 6      |
| H19 | 164   | 56  | 108 | 150  | 6       | 8      |
| H20 | 184   | 64  | 120 | 177  | 0       | 7      |
| 計   | 1,041 | 398 | 643 | 968  | 21      | 52     |
| 比率  | 100%  | 38% | 62% | 93%  | 2%      | 5%     |

- 5年間のOGTT検査者に、他の医療機関でつけられていた病名

|     | 検査数  | 統合失調症 | うつ病 | 幻覚・幻聴 | ADHD | パニック障害 | アトピー性皮膚炎 | 不明  |
|-----|------|-------|-----|-------|------|--------|----------|-----|
| H16 | 287  | 64    | 33  | 11    | 2    | 4      | 2        | 171 |
| H17 | 242  | 24    | 14  | 3     | 1    | 5      |          | 195 |
| H18 | 164  | 13    | 14  | 3     |      | 3      |          | 131 |
| H19 | 164  | 12    | 14  | 3     | 1    | 1      |          | 133 |
| H20 | 184  | 15    | 16  | 1     | 1    | 3      | 3        | 145 |
| 計   | 1041 | 128   | 91  | 21    | 5    | 16     | 5        | 775 |

- 5年間のOGTT検査患者の血液検査所見



- ペットボトル症候群という症状も起こっています。

清涼飲料水の多飲を契機として、急激に血糖値が上昇する。元はインスリン抵抗性でインスリン分泌は保たれているが、ブドウ糖毒性によりケトアシドーシス（脂肪酸がケトン体になり）にまで至る。

ペットボトル症候群では、吸収されやすい単純糖質の大量摂取により血糖値が上昇し、ブドウ糖毒性から昏睡に至るような高血糖状態になる。

血糖値が高くなると、インスリンの分泌もインスリンの効きも悪くなる。このため血糖値が上昇し易くなり、そのことがさらにインスリン分泌不全とインスリン抵抗性を助長し、血糖値がさらに上昇するという悪循環に陥ります。（ブドウ糖毒性）

### 3. 低血糖症の症状 (①は前月資料をご覧ください。)

#### ② 血糖値を上げようとするホルモンが精神や身体に異常をもたらす。

低血糖時には低血糖症による障害を是正しようとして6～7種類のホルモンが分泌されます。その中で最初に分泌されるのがカテコラミンで、このホルモンが過剰に分泌されると低血糖症の精神的・身体的症状を起こします。理性を司る分野(脳の表側を占める大脳皮質)に栄養が乏しくなるため、理性の働きが鈍ってきます。低血糖時にはまず、生命維持にかかわる間脳(視床下部など)にブドウ糖が優先して分配されるため、いっそう大脳皮質への血糖供給が減り、理性的判断をすることがさらに困難な状況となります。他方、血糖値を上げるため分泌されたアドレナリンやノルアドレナリンが情動を司る脳の分野(大脳辺縁系)を刺激し、感情的興奮(怒り、憎しみ、敵意、焦燥感、恐怖感、落ち込み、悪夢、不眠、自殺観念)を引き起こすため、脳全体の機能のバランスが悪くなり、感情をコントロールできずに「キレル」症状を起こす原因の一つともなります。

ノルアドレナリンやアドレナリンは、自律神経の交感神経の神経伝達物質であり、低血糖症では以下のような交感神経刺激症状がおこります。

手足の冷え、呼吸が浅い、眼の奥が痛む、動悸がする、頻脈、狭心痛、手足の筋肉の痙攣、失神発作、月経前緊張症、手指の震え、締め付けられる頭痛や偏頭痛、発汗、顔面蒼白、体重減少、胸痛、便秘、立ちくらみ、意識障害、痙攣、目前暗黒感、日光がまぶしい、甘い物が無性に食べたい、胃腸が弱い、口臭、ため息、生あくび、異常な疲労感、起床時の疲れ、日中特に昼食後の眠たさ、集中力の欠如、めまい、ふらつき、物忘れがひどい、眼のかすみ、など

#### ※ 精神科医や他の医師との協力について

精神疾患や慢性疲労、その他の疾患で精神科医や他の医師との協力が必要な場合がありますが、機能性低血糖症について、現在でも理解してくださらない医師が多いのが事実です。減薬その他に協力的な医師の情報をお寄せください。他の患者さんに紹介することができます。

#### 《 診 療 時 間 》

月曜～金曜 (午前 8 時 30 分～12 時 10 分、午後 2 時 30 分～5 時 30 分)

土曜 (午前 8 時 30 分～12 時 10 分、午後 2 時～4 時)

休診日 木曜、日曜、祝日、年末年始

- 各種健康保険取扱機関
- 介護保険取扱機関
- 結核予防法指定機関
- 身体障害者認定医
- 各種健康診断
- 生活保護指定機関
- 特定疾患取扱機関
- 自立支援医療機関
- 小中台小学校校医
- 栄養療法(分子整合医学)



(携帯サイトへ)